

NEWS RELEASE

キヤノン株式会社
キヤノンマーケティングジャパン株式会社

**セキュリティ機能とクラウドサービス連携を大幅に強化
“imageRUNNER ADVANCE Gen3 3rd Edition” 7 シリーズ 22 モデルを発売**

キヤノンはオフィス向け複合機の新製品として、“imageRUNNER ADVANCE Gen3 3rd Edition (イメージランナー・アドバンス・ジェネレーション・スリー・サード・エディション)” 7 シリーズ 22 モデルを 2019 年 1 月下旬より発売します。



imageRUNNER ADVANCE C5560F III
*オプション装着時

昨今、IT 機器へのサイバー攻撃が多様化し、企業にとっては情報漏えいにつながる大きなリスクとなっています。セキュリティに対する社会的関心の高まりを受け、先進国を中心に法令整備も進んでおり、さまざまなデータを扱う複合機の対策はこれまで以上に重要になっています。新製品は、業務を効率化する機能とともにセキュリティ機能を大幅に強化したことにより、多様化する脅威に対して多層的な防御を実現し、より安全なオフィス環境の構築に貢献します。

■ セキュリティ脅威に対する多層的な防御を実現

新たに「起動時改ざん検知」と「稼働時改ざん検知^{※1}」機能を搭載し、複合機の起動時と稼働時に、複合機本体の内部プログラムの改ざんを常時検知し、不正プログラムの実行を防ぎます。さらに、大企業を中心に導入が進んでいる IT 機器セキュリティ管理システム (SIEM^{※2}) へ複合機の操作履歴などのログ情報を転送する機能を搭載し、脅威が生じた場合、管理者は SIEM から通知を受け取ることが可能です。また、2 本の有線ネットワーク回線を接続できるようになり^{※1}、例えば、インターネットとイントラネットが共存するネットワーク環境であっても、それぞれのネットワークが複合機内でも分離されているため、より幅広いセキュリティ環境に 1 台で対応できます^{※3}。これらにより、従来からの個人認証による情報漏えい抑止と併せ、多層的な防御を実現します。

■ 部門別プリント集計やスキャン設定のテンプレート選択により簡単操作で業務を効率化

本体標準搭載のクラウドサービス「uniFLOW Online Express」が部門別のプリント集計に対応し^{※4}、社内部門ごとのコスト管理が簡単に行えます。また、あらかじめ登録されたスキャン設定のテンプレートを選択するだけで、個人認証と連動してファイル名称を自動生成し、指定のクラウドストレージに保存できるなど、スキャン業務の効率化に貢献します。

製品名	希望小売価格 (税別)	発売日
imageRUNNER ADVANCE 8500 / C7500 / 6500 / C5500 / 4500 / C3500 シリーズ 3rd Edition	130 万円～	2019 年 1 月下旬
imageRUNNER ADVANCE C356F 3rd Edition	67 万 5 千円	

※1 2019 年夏よりファームウェアアップデート (無償) で順次対応予定。

※2 Security Information and Event Management の略。IT 機器のログを収集、分析し、脅威を検知、通知する仕組み。

※3 有線ネットワークを 2 回線接続する場合、別途アダプターの購入が必要。

※4 2019 年 2 月より対応予定。

● 一般の方のお問い合わせ先 : キヤノンお客様相談センター 050-555-90056
● オフィス向け複合機ホームページ : canon.jp/office-mfp

<主な特長>

1. セキュリティー脅威に対する多層的な防御を実現

- ・従来シリーズ「imageRUNNER ADVANCE Gen3 2nd Edition」(2018年1月発売) から引き続き、本体標準のクラウドサービス「uniFLOW Online Express」が個人認証機能を提供し、認証プリント機能によって、印刷した紙文書が本体トレイに放置されることによる情報漏えいリスクを低減。
- ・上記に加え、新製品ではセキュリティー機能を大幅に強化し、ネットワークを介したサイバー攻撃に対する防御を実現。

【新たなセキュリティー機能】

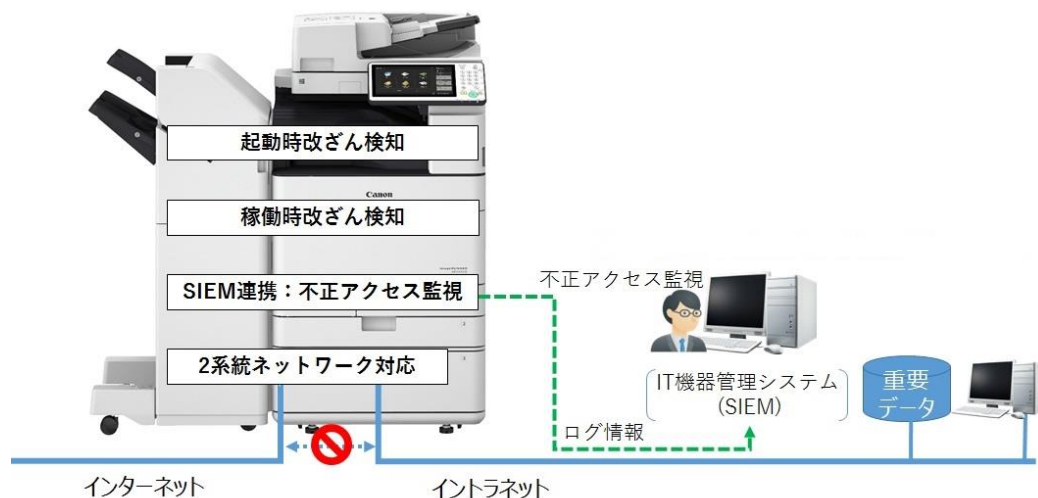
- ① 「起動時改ざん検知」機能を搭載し、複合機の電源を入れてから起動するまでの間に、内部プログラムの電子署名方式による信頼性の検証を行うことで改ざんを検知し、不正プログラムの実行を防止。
- ② 「稼働時改ざん検知^{※1}」機能を搭載し、複合機が稼働している間に複合機本体で実行されているプログラムを監視し、不正なプログラムの実行を防止。
- ③ 複合機のログ情報(ジョブログ、監査ログ^{※2})を企業が導入したIT機器管理システム(SIEM^{※3})に転送できるため、複合機にセキュリティーリスク(例:休日に大量のスキャンデータが社外の宛先に送信される)が生じた場合、管理者はSIEMから通知を受け取ることが可能。
- ④ 2本の有線ネットワーク回線を接続できるようになることで^{※1}、例えば、インターネットとイントラネットが共存するネットワーク環境であっても、それぞれのネットワークが複合機内でも分離されているため、より幅広いセキュリティー環境に1台で対応可能^{※4}。
- ⑤ 証明書により許可した機器のみを接続させるネットワーク環境において、期限切れ前に証明書を自動更新する機能を搭載。人手による更新作業を自動化。

※1 2019年夏よりファームウェアアップデート(無償)で順次対応予定。

※2 複合機の操作内容やそれに伴う複合機の動作に関する情報。

※3 Security Information and Event Managementの略。IT機器のログを収集、分析し、脅威を検知、通知する仕組み。

※4 有線ネットワークを2回線接続する場合、別途アダプターの購入が必要。



セキュリティー強化機能(イメージ図)

2. 部門別プリント集計やスキャン設定のテンプレート選択により簡単操作で業務を効率化

- ・本体標準搭載のクラウドサービス「uniFLOW Online Express」に新たな機能を追加。プリント履歴を部門別に集計できるようになり、従来の個人別／機器別の集計機能に加え、離れた拠点にある複合機のプリント履歴も含めて、部門ごとに印刷コストを管理することが可能※。
- ・従来の「uniFLOW Online Express」では、ワンボタンで、スキャンした文書を指定したクラウドストレージに保存するなど、スキャン業務を効率化。新たに、ワークフローに最適なスキャン設定（ファイル形式や解像度など）をあらかじめ用意したテンプレートから選択することで、簡単に設定が可能※。
- ・過去に使ったユーザー別の設定履歴が本体操作部のメインメニューに「タイムライン」として表示され、ワンタッチで再設定可能。また、「タイムライン」に表示された設定履歴のアイコンを長押しすることにより、メインメニューへの登録も可能。

※ 2019年2月より対応予定。

3. 「アドバンスドスキャン機能※」で複合機によるスキャン業務を効率化

- ・紙文書のデジタル化を自動で行い、中小企業などの業務効率化を実現する「アドバンスドスキャン機能」を搭載。領収書を複合機でスキャン、日付や金額などを自動抽出し、経費システムへの自動入力を行い、手入力作業を最小限に抑えることが可能。
- ・上記に加え、複合機でスキャンした定型文書から、あらかじめ決められたキーワードを抽出し、その情報からファイル名やインデックスの自動付与を行うことで、手入力作業を最小限に抑え、電子文書のファイリングを容易に行うことが可能。

※ 発売時は非対応。「uniFLOW Online」のオプションサービス（有償）として順次提供予定。

4. 「プリント from クラウド機能※」で外出先からでも印刷可能

- ・「プリント from クラウド機能」を新たに追加し、クラウドストレージとの連携において、PCやモバイル端末を使用することなく、設定したどの複合機からでもクラウドストレージに保存したファイルを印刷可能。例えば、本社から支社への外出時など、クラウドに保存した文書や資料を複合機の操作画面から選択し出力指示を行うだけで、簡単に印刷可能。

※ 「uniFLOW Online スタートアップパック」（有償）と「uniFLOW Online Basic Printing オプション」（有償）が必要。

<モデル別一覧表>

製品名※	希望小売価格 (税別)	連続複写速度 (A4 ヨコ) カラー/モノクロ	ADF (自動原稿 送り装置)	ファクス
iR-ADV C7580 III	380 万円	70 枚/80 枚	両面同時	オプション
iR-ADV C7570 III	330 万円	65 枚/70 枚	両面同時	オプション
iR-ADV C7565 III	300 万円	60 枚/65 枚	両面同時	オプション
iR-ADV C5560F III	270 万円	60 枚/60 枚	両面同時	○
iR-ADV C5550F III	250 万円	50 枚/50 枚	両面同時	○
iR-ADV C5540F III	210 万円	40 枚/40 枚	両面同時	○
iR-ADV C5535F III	190 万円	35 枚/35 枚	両面同時	○
iR-ADV C3530F III	165 万円	30 枚/30 枚	反転	○
iR-ADV C3520F III	135 万円	20 枚/20 枚	反転	○
iR-ADV 8505 III	500 万円	—/105 枚	両面同時	オプション
iR-ADV 8505B III	458 万円	—/105 枚	なし	なし
iR-ADV 8595 III	420 万円	—/95 枚	両面同時	オプション
iR-ADV 8595B III	378 万円	—/95 枚	なし	なし
iR-ADV 8585 III	340 万円	—/85 枚	両面同時	オプション
iR-ADV 8585B III	298 万円	—/85 枚	なし	なし
iR-ADV 6575 III	310 万円	—/75 枚	両面同時	オプション
iR-ADV 6565 III	280 万円	—/65 枚	両面同時	オプション
iR-ADV 6560 III	250 万円	—/60 枚	両面同時	オプション
iR-ADV 4545F III	185 万円	—/45 枚	両面同時	○
iR-ADV 4535F III	165 万円	—/35 枚	両面同時	○
iR-ADV 4525F III	130 万円	—/25 枚	反転	○
iR-ADV C356F III	67 万 5 千円	35 枚/35 枚	両面同時	○

※ iR-ADV は imageRUNNER ADVANCE の省略表記。III は 3rd Edition を示す。

<主な製品仕様>

各モデルの製品仕様の詳細は、ホームページをご参照ください。

<複合機の市場動向>

複合機市場において、2018 年の出荷台数は国内は約 46 万台、全世界では約 397 万台でした。2019 年の出荷台数は国内は約 49 万台、全世界では約 404 万台と予想しています。(キヤノン調べ)